

国内の10事業者・団体が集結し  
地域に眠る名品、それを支えるストーリーを今年も発掘します！

## 「2020年度 ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」

<https://furusatomeihin.jp/>

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」は、日本各地の素晴らしい名品やその背景にあるストーリー、地域を元気にする様々な取り組みやチャレンジを発掘し、地域の内外に発信することを目的とした表彰制度です。2015年度から始まり、今年度で6年目を迎える本事業は、地方創生に向けて志を同じくする民間企業の主体的な集まりである「ふるさと名品・オブ・ザ・イヤー実行委員会(実行委員長:古田秘馬、以下「実行委員会」)が運営しています。

今年度の「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」では、昨年度の「名品部門」、「交流コンテンツ部門」の2カテゴリーを「モノ(名品)部門」、「コト部門」の2部門に再編し、それぞれの部門において地方創生賞を選定するとともに、各部門の中から最も優れたものを地方創生担当大臣賞として選ぶこととしています。2020年11月13日(金)から本表彰制度へのエントリーの受付を開始しておりますので、公式WEBサイト(<https://furusatomeihin.jp/>)をご確認の上、積極的にご応募ください。

モノ(名品)部門は食品や加工品、工芸品等の商品化がされているもので、コト部門は観光商材、サービス、関係人口施策のほか、新たな生活様式に対応した地域を活性化する新たな取り組みや活動を募集していきます。いずれの部門も、地域の特色を活かし直近3年以内に商品化されたものや、活動をエントリー対象とします。ただし、販売・発表から数年経てもまだまだ認知のない名品であればエントリー可能です。

それぞれの名品や、名品をめぐる人材・取り組みが、どれだけ地方の変革に向けた機運を醸成し、その実現に成功したかという観点から選考・表彰していきます。

実行委員会は、地域の将来を支える名品の発掘や市場開拓、それらを実現する人材や取り組みを支援することを目的として、本日発表した表彰制度に加え、地域商社協議会を開催するなど、参加する民間企業間での連携を図りながら地方創生に向けたサポートを今後とも展開していきます。



## <「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会>

実行委員長： 古田 秘馬

幹事社(3社)： 株式会社ジューピターテレコム(J:COM)、株式会社JTB、株式会社テレビ東京コミュニケーションズ

会員企業・団体(7社)：

株式会社インターローカルパートナーズ、紀尾井町戦略研究所株式会社、株式会社さとふる、日本郵政株式会社、株式会社羽田未来総合研究所、エコツエリア協会、一般社団法人モテパLAB

後援： 内閣府、経済産業省(申請中)

## <ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 2020 募集要項>

募集期間： 2020年11月13日(金)～2021年1月15日(金)

応募方法： 公式WEBサイト(<https://furusatomeihin.jp/>)より、ご応募ください

お問い合わせ先： furusatomeihin@jtb.com

### 【ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 2020 地方創生大賞、地方創生賞】

それぞれの名品や、名品をめぐる人材・取り組みが、どれだけ地方の変革に向けた機運を醸成し、その実現に成功したかという観点から選考・表彰する賞。「モノ(名品)部門」、「コト部門」の2つのカテゴリごとに地方創生賞を5つずつ用意し、それぞれのカテゴリの最高位を地方創生大賞(地方創生担当大臣賞)とします。

応募条件： 本年12月頃までに、地域の特徴を生かした最近3年以内を目安に新たに販売・発表された商品を対象とします。ただし、販売・発表から数年経てもまだまだ認知のないコト・モノであれば受賞可能と判断する予定です。

選考フロー： 一次審査・二次審査・最終審査の三段階の審査を行います。

授賞内容： 「モノ(名品)部門」、「コト部門」の2つのカテゴリごとに地方創生大賞2点と地方創生賞8点を授賞

### 【受賞者の権利】

- ① 受賞名品は、販促機会に「受賞ロゴ」を使用できます。
- ② 各事業者の特徴を生かした販促機会が(ECサイト無料掲載など)提供されます。(予定)

## <2020年度の「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」実行委員会の取り組み>

- ① 表彰制度  
「地方創生大賞」「地方創生賞」を設け、各事業者・自治体の商品や取り組みを支援してまいります。
- ② 地域商社協議会  
内閣官房、経済産業省、ふるさと名品オブ・ザ・イヤーが共同で官民連携の定期セミナーを開催し、公式サポーターと自治体のマッチングの場として展開しています。今回は、2021年2月1日(月)に開催予定です。  
<https://furusatomeihin.jp/kyogikai.php>

<2019年度「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」受賞品>

【地方創生大賞・名品部門】

tsu tsu mi(宮城県伊具郡丸森町)



【地方創生大賞・交流コンテンツ部門】

斬新的発想で大混雑・白川郷イベントの地域課題を一掃(岐阜県大野郡白川村)



【地方創生賞・名品部門】

提案者名	ふるさと名品名	都道府県	市区町村
一般社団法人 宮古観光文化交流協会	瓶ドンプロジェクト (宮古の新しい体験型 ご当地グルメの開発)	岩手県	宮古市
株式会社ソアラサービス	EARTH Hiroshima 折り鶴再生紙グッズ	広島県	広島市
ジャムセットブレイス株式会社	総青森ひば間接照明 さとうきびの搾りカス	青森県	青森市
株式会社Rinnovation	「バガス」を活用した エシカルデニムプロジェクト	沖縄県	浦添市

【地方創生賞・交流コンテンツ部門】

提案者名	ふるさと名品名	都道府県	市区町村
松浦市役所 地域経済活性化課	アジフライの聖地 松浦	長崎県	松浦市
田原本町役場	奈良田原本流鎗馬まつり	奈良県	田原本町
株式会社someru	西東京市の情報はこれ1つ! タウン誌アプリ「フラリコ」!	東京都	西東京市
広田湾遊漁船組合	広田湾海中熟成プロジェクト。 ~海でお酒を沈める 海中熟成体験による地域活性~	岩手県	陸前高田市

<お問い合わせ先>  
 ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会事務局  
 大谷：070-1054-7835  
 佐竹：080-7631-3004  
 EMAIL: furusatomeihin@jtb.com  
 時間：月～金9:30-17:30（土日祝 休業）